

大雨が降った時に列車が速度を落としたり止まるのはなぜですか？

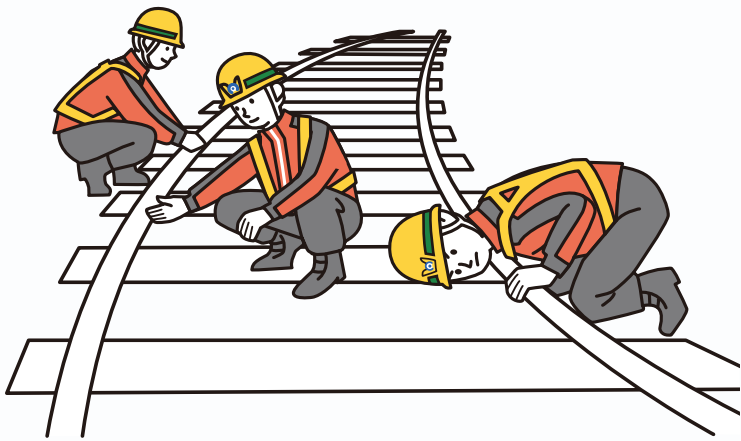


大雨が降ると、線路が崩れたり土砂が流入する危険性が高まるためです。川が増水し、水位が上がった場合も、列車は速度を落としたり運転を見合わせています。



—— 運転再開までの流れ ——

雨量が規制値を下回ると…



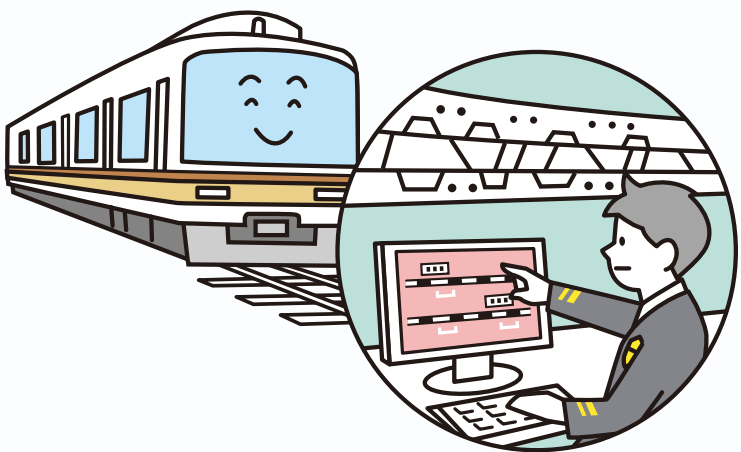
線路などの点検を開始します。



線路に流れ込んだ土砂を取り除きます。



土のうを置いたり、橋の状態を確認します。



点検後、異常がなければ運転再開します。

Q. なぜ、雨が止んだ後も
列車の運行速度を低下(徐行)させたり
運転見合わせを続けるのですか？

A. 雨が止んでも、防災対策されていない
斜面や線路にはまだたくさんの雨水を
含んでいることがあります。そのため、線路が
崩れたり土砂が流入出する可能性があります。
安全のために、必要な点検を行った後、運
転を再開しています。

降雨災害への対策

● 斜面防災・落石防護柵

過去の検査結果をもとに、斜面崩壊や落石の
危険性がある場所を特定し、対策が必要な斜
面ではコンクリートで固める工事や落石を防
ぐ柵の設置などを進めています。



斜面对策後の盛土



落石防護柵